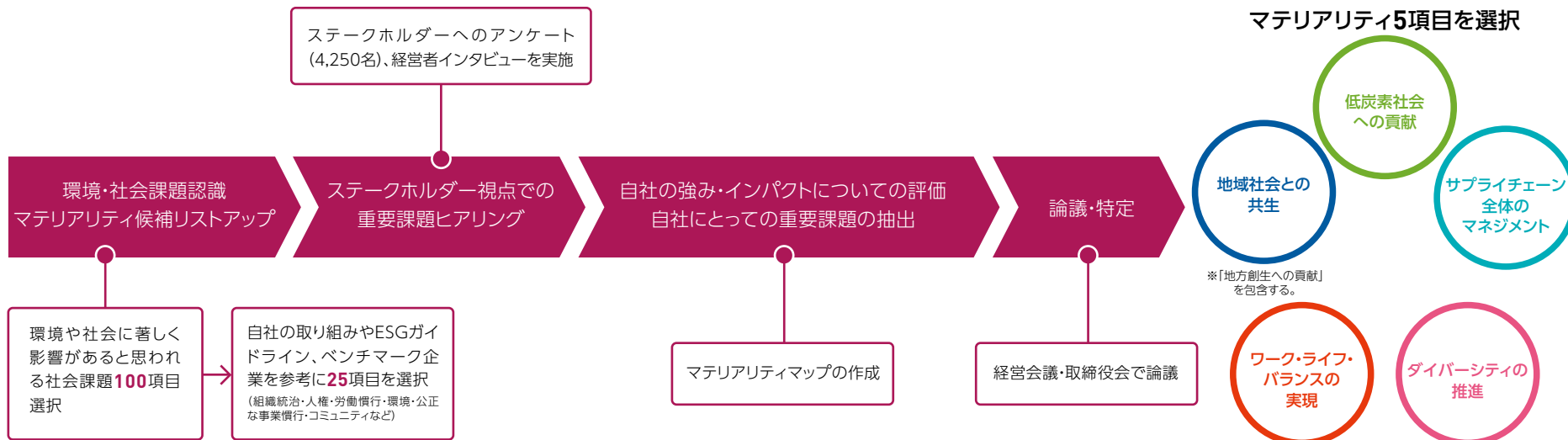


→ **マテリアリティの特定** 5つのマテリアリティと取り組み策 サステナビリティロードマップ

マテリアリティ特定のプロセス



JFRグループは、事業活動と社会課題の関連性を明確にするなかで「企業と社会の持続的成長」および「持続可能な社会」の実現に資するマテリアリティ(重要課題)の特定に取り組みました。

具体的には、

- ① **当社が取り組む意義があり、成果を上げることが出来る環境・社会課題**
- ② **本業をいかして取り組むことが出来る課題**

という視点からマテリアリティとなる候補を25項目選択しました。次に、その25項目について、客観性・多様性が担保出来るようステークホルダー4,250名へアンケートを実施し、その結果をもとに、主要ガイドラインであるGRI(Global Reporting Initiative: サステナビリティ

に関する国際的なガイドラインを提唱するNGO)スタンダードやISO26000およびSRI(Socially Responsible Investment: 社会的責任投資)の評価項目、SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)、さらに社長レビューを反映した内容をもとに、経営会議などの社内論議を経てマテリアリティマップを策定し、最終的には取締役会においてマテリアリティを5つに絞り込み、正式決定しました。

そして現在、マテリアリティについて達成すべき長期目標を設定し、具体的な行動計画を進め、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献するとともに、持続可能な企業としての発展を目指し、JFRグループ全社での取り組みを推進しています。

J.フロントリテイリンググループのマテリアリティ・マップ

